

「捨てられた子供は、どうなるのだろうか。」

「生まれたばかりの赤ちゃんを、なぜ殺すのだろうか。」

と、子供心にも真剣しんけんに考えるようになりました。

この叔父の家での三年間の生活が、岩子の社会事業への道を方向づけたので
す。

行商生活

叔父の世話で結婚して呉服屋こふくやを開いていた岩子は、夫おつととともに、熱心に商売
しました。その熱心な商売が評判ひょうばんとなり、店は大いにぎわい、子供も、男の
子一人、女の子三人も生れて、楽しい生活ができるようになっていました。
しかし、その楽しい生活も長く続きません。夫が急に病気になる、商売ができ